

『すべての高齢者が尊重され、住み慣れた地域で、健やかに自分らしく暮らせる長寿社会を築きます』を基本理念に、3つの基本目標、5つの施策の方向性を示し、取り組んだ。17の取組事項のうち、「順調」は10項目、「概ね順調」は4項目、「低調」が3項目であり、全体としては「順調」に推進できている。※推進状況は、取組指標（P 5「参考資料1」）を基に評価した。

評価については、取組事項別に令和4年度の施策別取組指標の計画値に対する実績値の割合の平均値を算出して評価した。
現行計画期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響があり、外出自粛などにより少なからず影響を及ぼしている可能性があることから、こうした環境変化を考慮する必要がある。

 順調(90%以上)

 概ね順調(70%以上)

 低調(70%未満)

基本理念	基本目標	施策の方向性	取組事項	評価 (実績/計画)		評価の内容
全ての高齢者が尊重され、住み慣れた地域で、健やかに自分らしく暮らせる長寿社会を築きます	1 元気でいきいきと暮らせる健康長寿社会の実現	1 健康づくり、自立支援、介護予防・重度化防止施策の充実	1 健康づくりの推進		92.0%	望ましい食習慣の定着を図るため、健康づくり食生活推進員を対象にリーダー研修や各地区での伝達講習を実施したが、コロナ禍の影響により、活動回数や参加人数が計画値には至らなかった。また、心の健康づくりの推進のため、ゲートキーパー養成研修会で傾聴方法についてロールプレイを実施し、多くの参加者から研修会の理解を得られたことなどから「順調」とした。
			2 切れ目のない介護予防の推進		74.6%	通いの場や楽笑教室等の介護予防教室を感染対策を徹底しながら実施するとともに、保健事業と介護予防の一体的取組において保健師や栄養士が個別指導等を実施した。一方で、医療と介護の多職種で検討を行う自立支援型地域ケア会議がコロナ禍により達成度が40%と計画値を下回ったことなどから「概ね順調」とした。
			3 地域リハビリテーションの推進		150.5%	住民主体のでん伝体操の場等によりリハビリ専門職や健康運動指導士を派遣し、効果的な体操や体組成計測定等を実施したことにより、派遣回数は160%、参加延べ人数も141%と計画値を大きく上回ったことから「順調」とした。
	2 共に支え合い、地域で安心して生活できる社会の実現	1 地域共生社会の実現	1 地域包括ケアシステムの充実		123.5%	メローねっとや班内回覧により総合相談窓口の周知に努めたことにより、相談件数は令和3年度より355件増加した。また、地域包括支援センターが主催する地域ケア会議の積極的な開催を促したことにより、検討件数は令和3年度より10件増加するなど計画値を大きく上回ったことから「順調」とした。
			2 支え合う仕組みの構築・ネットワークの充実		92.7%	第2層生活支援コーディネーターと連携して、生活支援活動組織の立ち上げに向けた機運の醸成を図ったが、計画値5箇所には届かなかったものの、居場所や見守りネットワークの立ち上げ支援を行ったことにより、新たに居場所が4箇所、見守りネットワークが18箇所立ち上がったことから「順調」とした。
			3 生きがいづくり・社会参加		68.5%	介護施設や高齢者宅で行う介護ボランティアの活動がコロナ禍により制限されたため、登録者数が50%、活動回数も37%と計画値を大きく下回ったことから「低調」とした。今後は、新規登録者を増やすため、事業の周知や活動の場を増やし、登録者と施設を結び付けるなど、高齢者の社会参加や生きがいづくりを支援していく。
			4 在宅生活への支援		113.6%	通院・外出支援サービスは、コロナ禍の影響による外出自粛により利用者が減少したが、75歳以上のひとり暮らし高齢者宅への看護師や栄養士の訪問による健康状況の確認や保健指導の訪問件数が105%、配食サービス、紙おむつ支給事業、理美容サービス、はり・灸・マッサージ施術費助成などの在宅福祉サービスが順調に利用されていることから「順調」とした。
			5 安心・安全の確保		74.0%	ひとり暮らし高齢者等に日常生活の安全と緊急事態への対応を図るため、緊急通報用機器を貸与したが、携帯電話の普及により令和3年度より12台減少した。計画値に対しても74%と貸与数は減少傾向にあるが「概ね順調」とした。
		2 認知症施策の推進	1 認知症に対する正しい理解の促進		60.3%	認知症キャラバンメイトの登録者数は令和3年度より3人増加したが、コロナ禍の影響により、認知症サポーター養成講座の実施回数が26%、実施人数が51%と大きく計画値を下回ったことから「低調」とした。今後は、地域住民をはじめ、事業所や学校、金融機関等、多様な対象者への普及啓発を図っていく。
			2 認知症予防の推進		101.4%	ふれあい・いきいきサロン設置自治会数は令和3年度より7箇所減少したが、ふくろい健康保健室における認知症予防セミナーの開催や、通いの場（介護予防体操、居場所、サロン）づくりの普及に努めたことにより、新たに、介護予防体操5箇所、居場所が4箇所立ち上がったことから「順調」とした。
			3 切れ目のない相談・支援体制の充実		66.5%	医師やリハビリ専門職等がチームを組む「認知症初期集中支援チーム」の開催を月1回計画していたが、コロナ禍により専門職が会することが困難となり、開催回数を制限したことから開催回数も9回、支援人数も7人と目標値を達成できなかったことから「低調」とした。
			4 地域で支え合い、ともに暮らす社会の実現		120.5%	地域で見守る「はいかいSOSネットワーク事業」の周知や、QRコード付き見守りシールや個人賠償責任保険の導入により、はいかいの心配のある方の新規登録者数が29人と計画値を9人上回るとともに、協力事業者数も計画値には届かなかったものの令和3年度から1事業所増加したことから「順調」とした。
		3 在宅医療・介護連携の推進	1 在宅医療・介護連携の推進		153.8%	袋井市版人生会議手帳「こころのノート」を活用したACP（アドバンス・ケア・プランニング）研修会の参加者はコロナ禍により70人と大きく計画値を下回ったが、総合相談窓口に磐周医師会の在宅医療介護連携コーディネーターを月2回配置し、相談体制を強化したことにより、計画値に対し398%の736件と大幅に計画値を上回ったことから「順調」とした。
			2 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の推進		—	コロナ禍により、医療と介護の専門職が会することが困難であったため、Webによる会議や研修会を定着させ、多職種による意見交換や多機関の情報共有等を重点的に行うことで、連携が推進できたことから「概ね順調」とした。
	3 安心な生活を支援するための介護保険制度の推進	1 保険事業の円滑な実施	1 介護サービス事業の推進		94.4%	高齢化率や認知症高齢者の増加などの人口動態やサービス需要の見込み量を踏まえ、施設サービス・居宅系サービス・地域密着型サービスをバランスよく組み合わせた介護サービスが提供できたことから「順調」とした。
			2 介護サービスの質の確保		98.2%	介護認定調査結果やケアプランの点検を行い、居宅介護支援員のケアマネジメントの実践に向けた取組の支援や資質の向上に取り組んでいることから「順調」とした。
			3 介護人材の確保		—	新たに外国人初任者研修モデル事業を実施し、外国人の人材確保に努めたことから「概ね順調」とした。引き続き、県の行っている介護人材確保対策事業の周知・協力を行い、介護人材のすそ野の拡大を推進していく。

袋井市長寿しあわせ計画（R3～R5）取組指標の進捗状況について

基本目標 1 元気でいきいきと暮らせる健康長寿社会の実現

1-1 健康づくり、自立支援、介護予防・重度化防止施策の充実

1-1-1 健康づくりの推進（計画P52）

施策別取組指標		年次	R 3 年度	R 3 実績/計画	R 4 年度	R 4 実績/計画	R 5 年度	内容	事業量(R 3 年度)	事業量(R 4 年度)	今後の取組方針
望ましい食習慣の定着	地域での健康食の普及活動回数（回）	計画値	110	107%	120	83%	130	袋井市健康づくり食生活推進員を対象に、リーダー研修を実施する。また、各地区で伝達講習を実施する。	リーダー研修14回、118人参加 伝達講習104回、781人参加 リーダー研修は感染症予防のため少人数で実施し、伝達講習も感染症予防による不参加のため、参加者増には至らなかった。	リーダー研修 7回、104人参加 伝達講習 89回、1,124人参加 地区研修 4回、48人参加 リーダー研修は会員の負担軽減のため回数を減らして実施し、伝達講習はコロナ禍により回数や参加者が減少。	袋井市健康づくり食生活推進員の新規会員獲得に努め、食による健康づくりを推進していく。
		実績値	118		100		—				
	地域での健康食の普及活動参加延人数（人）	計画値	1,200	75%	1,350	95%	1,500				
		実績値	899		1,276		—				
心の健康づくりの推進	ゲートキーパー養成延人数（人）	計画値	500	101%	530	98%	560	民生委員児童福祉委員や健康づくり推進員のほか、一般市民を対象にゲートキーパー養成研修会を開催する。	11月11日開催、24人参加 傾聴方法についてロールプレイを実施し、約 8 割の参加者から研修会への理解を得ることができた。	11月8日開催 16人参加 「アイ メッセージ」の大切さや、傾聴方法についてロールプレイを実施し、参加者全員が研修会の理解を得ることができた。	事業所の人事担当者や民生委員等、人と接する機会の多い分野でのゲートキーパーの養成を実施する。
		実績値	504		520		—				

1-1-2 切れ目のない介護予防の推進（計画P55・56）

施策別取組指標		年次	R 3 年度	R 3 実績/計画	R 4 年度	R 4 実績/計画	R 5 年度	内容	事業量(R 3 年度)	事業量(R 4 年度)	今後の取組方針
保健事業と介護予防の一体的取組	後期高齢者保健指導延人数（人）	計画値	325	170%	340	86%	355	糖尿病重症化予防や腎機能低下予防等が必要な高齢者へ保健師や管理栄養士が個別指導等を実施する。	対象者467人に対し、11月末までに延522人へ実施した。対象者 1 人に対して、年 2 回の指導を実施した。	対象者344人に対し、延294人に指導を実施した。うち47人には指導を 2 回実施した。	重症化予防の視点で個別指導の対象者を選定し、評価指標を明確にして実施していく。
		実績値	551		294		—				
「通いの場（介護予防体操）」づくり	通いの場（介護予防体操）箇所数（箇所）	計画値	75	89%	80	90%	85	シニア支援センターに普及促進事業を委託し、地域包括支援センターと連携して未実施自治会等へ説明会を実施する。	12月末現在、新規開始 4 か所 説明会10か所の実施、延参加者数80人	新規開設 5 か所 説明会29か所の実施、延参加者数161人 体力測定や錘の貸出など活動の継続を支援した。	袋井シニア支援センターや関係部署と連携し、身近な場で活動ができるよう、立ち上げや継続を支援していく。
		実績値	67		72		—				
介護予防出前講座	実施回数（回）	計画値	130	79%	130	92%	130	65歳以上の市民による団体に対し、運動、栄養、歯科、転倒予防講座を実施し、講師料の補助をする。	実施回数88回 申込をしたが6件が新型コロナの影響により中止となった。	テーマ別の実施回数 運動99回、栄養 6 回、口腔10回、認知症 3 回、感染予防 1 回	通いの場や健康教室等の場で事業の周知を積極的に行う。
		実績値	103		119		—				
	参加延人数（人）	計画値	2,500	58%	2,500	67%	2,500				
		実績値	1,456		1,666		—				
楽笑教室（認知症・閉じこもり・フレイル予防事業）	実施回数（回）	計画値	294	100%	294	100%	294	袋井市社会福祉協議会に委託し、65歳以上の要支援 2 までの高齢者を対象に、コミュニティセンター等14か所で、各会場年21回教室を実施する。	1月末登録者数241人 延参加者数3,484人、実施回数246回	年度末登録者数223人 延参加者数3,874人、実施回数294回	総合事業サービスや介護予防のための通いの場への移行を進める。
		実績値	294		294		—				
	参加延人数（人）	計画値	4,600	90%	4,700	82%	5,000				
		実績値	4,119		3,874		—				
自立支援型地域ケア会議	実施回数（回）	計画値	4	50%	5	40%	6	高齢者の自立支援、Q O L（生活の質）の向上を目的に、保健師や管理栄養士、リハビリ専門職、地域包括支援センター職員などの他職種で検討を行う。	9月21日勉強会開催 10月21日、1 月20日開催 年 4 回の計画だったが、新型コロナの影響により、2 回の開催とした。	8月26日、10月18日開催し、4 事例の検討を行った。 年4回の計画だったが、新型コロナの影響により2回の開催とした。	外部アドバイザーを加え、自立支援に向けた効果的な会議となるよう、質の向上を図る。
		実績値	2		2		—				
	検討件数（件）	計画値	8	50%	10	40%	12				
		実績値	4		4		—				

1-1-3 地域リハビリテーションの推進（計画P58）

施策別取組指標		年次	R 3 年度	R 3 実績/計画	R 4 年度	R 4 実績/計画	R 5 年度	内容	事業量(R 3 年度)	事業量(R 4 年度)	今後の取組方針
地域リハビリテーション活動支援事業	出張指導回数（回）	計画値	35	106%	40	160%	45	住民主体のでん伝体操実施団体にリハビリ専門職や健康運動指導士が出向き、効果的な運動方法等を指導する。	新型コロナの影響により、活動の見合わせや中止が増えた。代替で健康状態等を自己管理するためのセルフケアノートを配布してフレイル予防の啓発をした。	新たに健康運動指導士による出張指導を開始し、派遣回数・参加延人数とも大幅に増加した。 派遣回数：リハ職24回、健康運動指導士 40回 参加延人数：リハ職304人、健康運動指導士542人	でん伝体操実施団体等に専門職派遣の活用を積極的に呼びかけて、住民主体の活動の継続と、効果的な運動の支援をしていく。
		実績値	37		64		—				
	参加延人数（人）	計画値	525	113%	600	141%	675				
		実績値	593		846		—				

基本目標 2 共に支え合い、地域で安心して生活できる社会の実現

2-1 地域共生社会の実現

2-1-1 地域包括ケアシステムの充実（計画P61・62）

施策別取組指標		年次	R 3 年度	R 3 実績/計画	R 4 年度	R 4 実績/計画	R 5 年度	内容	事業量(R 3 年度)	事業量(R 4 年度)	今後の取組方針
総合相談窓口の充実	相談対応件数（延べ）	計画値	5,200	109%	5,300	114%	5,400	健康や医療、福祉や生活に関することなど相談全般に応じ、関係機関と連携し課題解決に向けて支援する。	延相談件数5,600件（約300件増）ひきこもり、ヤングケアラー、ダブルケア、8050の相談窓口として周知相談支援コーディネーターを配置し、支援関係者を調整し、継続的支援に努めた。	メローねっとや班内回覧により総合相談窓口の周知に努めた。 昨年度より約400件増加し、8050など複合的な課題を抱える相談が増加している。	引き続き、多職種（保健師、看護師、社会福祉士等）のチームで相談対応を行い、関係機関と連携し、相談支援をしていく。
		実績値	5,689		6,044		—				
地域ケア会議の推進	個別ケース検討（件）	計画値	16	88%	18	133%	20	支援が必要な高齢者への適切な支援を行うため、関係者で個別のケース検討を行うとともに、検討により把握された地域課題などから地域包括ケアシステムを推進する。	市内4か所に設置している地域包括支援センターが主催し、1月末時点で11回の地域ケア会議を開催。	市内4か所の地域包括支援センターが主催して会議を開催した。積極的な開催を促し、検討件数は昨年度より10件増加した。	各地域包括支援センターが積極的に開催し、地域関係者とネットワークを構築し、課題を共有しながら、適切な支援につなげていく。
		実績値	14		24		—				

2-1-2 支え合う仕組みの構築・ネットワークの充実（計画P64・65）

施策別取組指標		年次	R 3 年度	R 3 実績/計画	R 4 年度	R 4 実績/計画	R 5 年度	内容	事業量(R 3 年度)	事業量(R 4 年度)	今後の取組方針
地域の支え合い活動の推進	地域住民が主体となった生活支援組織数（箇所）	計画値	4	75%	5	60%	6	生活支援コーディネーターが調整役となり、日常生活のちょっとした困りごとを支え合う地域づくりを推進する。	北部地域での生活支援活動の説明や地域福祉懇談会でワークショップを行うなど生活支援活動立ち上げの支援を行った。	第2層圏域ごとに生活支援コーディネーターがフォーラムやワークショップを開催し、生活支援活動の説明や意見交換を行い、活動の立ち上げに向けた機運の醸成を図った。	第2層S Cと連携し、既に活動をしている組織を参考に、地域の実情にあった活動が立ち上がるよう支援を行う。
		実績値	3		3		—				
居場所づくり	箇所数（箇所）	計画値	24	96%	24	113%	25	地域の人たちが気軽に立ち寄り、ふれあいや交流できる住民主体の居場所の継続支援や新たな立ち上げを促す。	担い手の育成を図るため、居場所づくり体験セミナーを開催した。（1月18日）	担い手の育成を図るため、「地域支え合いふれあい活動マップ」を作成し、活動の紹介と周知に努めた。また、昨年度実施した居場所づくりセミナー参加者により新たな居場所が立ち上がった。	情報発信や交流会等の開催により、ふれあいや交流できる住民主体の居場所の継続支援や新たな立ち上げを支援する。
		実績値	23		27		—				
見守りネットワーク	実施箇所数（自治会数）	計画値	76	91%	83	105%	90	日常生活の中で近隣住民がさりげない見守りや支援をする見守りネットワークの立ち上げを推進する。	2層S Cと連携しネットワークが立ち上がっていない地域でのワークショップや説明を行った。	第2層S Cと連携し、ネットワークの立ち上がっていない地域で説明や意見交換を行った。社協地区担当と第2層S Cが支援し、新たなネットワークが立ち上がった。	引き続き、ネットワークが立ち上がっていない地域への説明等を行う。
		実績値	69		87		—				

2-1-3 生きがいづくり・社会参加（計画P67・68）

施策別取組指標		年次	R 3 年度	R 3 実績/計画	R 4 年度	R 4 実績/計画	R 5 年度	内 容	事業量(R 3 年度)	事業量(R 4 年度)	今後の取組方針
ふれあい・いきいきサ ロン活動の推進支援	設置自治体数（箇所）	計画値	105	90%	107	87%	110	高齢者や障害者、子育て家庭等が地域の人と触れ合いながら、心豊かに暮らすことができるように活動を推進している。	自治会や民生員児童委員と連携しながら必要性の高い地区を推進した。	自治会や民生員児童委員と連携しながら必要性の高い地区を推進した。	引き続き、ボランティア育成や交流会を開催するなど、活動の促進を図る。
		実績値	95		93		—				
介護支援ボランティア事業	ボランティア登録者数（人）	計画値	260	52%	270	50%	280	介護施設や高齢者宅でのボランティア活動にポイント転換交付金を支給し、社会参加のきっかけづくりや自立した生活を支援する。	実態把握のため継続登録調査を実施し、登録者数が大幅に減少した。	新規登録者を増やすため、お元気運動ボランティア養成講座で制度の説明を行った。3/13に交流会を開催し、活動の活性化を図った。	新規登録者を増やすため、事業の周知やボランティア活動の場を増やし、登録者と施設を結び付け、高齢者の社会参加や生きがいづくりを支援する。
		実績値	136		135		—				
	ポイント転換活動数（回）	計画値	1,252	90%	3,250	37%	3,500		新型コロナの影響により活動が減少した。高齢による登録者数が減少した。	新型コロナの影響により活動が減少した。高齢による登録者数が減少した。	
		実績値	1,125		1,215		—				
老人福祉センター運営支援	利用者数（人）	計画値	13,000	99%	14,000	100%	15,000	高齢者の健康増進と生きがいづくりのため、指定管理者制度により白雲荘や笠原老人福祉センターの運営を支援する。	健康相談、教養講座、レクリエーション等を行い、高齢者同士のふれあいを深める場として利用促進を図った。	健康相談、教養講座、レクリエーション等を行い、高齢者同士のふれあいを深める場として利用促進を図った。	利用者に信頼される安全な施設運営に努め、利用者増加につながる企画や実施に努めていく。
		実績値	12,929		14,000		—				

2-1-4 在宅生活への支援（計画P70・71）

施策別取組指標		年次	R 3 年度	R 3 実績/計画	R 4 年度	R 4 実績/計画	R 5 年度	内容	事業量(R3年度)	事業量(R 4 年度)	今後の取組方針
ひとり暮らし高齢者訪問事業	訪問実人数（人）	計画値	635	86%	665	92%	695	75歳以上の独居高齢者宅に看護師等の医療従事者が訪問をして、健康や生活の状況確認や保健指導を実施する。	訪問対象者のうち76名はフレイルのリスクが高かったため、より専門性の高い指導をするため、栄養士が訪問を実施した。	訪問対象者のうち131名（前年度より55名増）はフレイルのリスクが高かったため、より専門性の高い指導をするため、栄養士が訪問を実施した。	基本チェックリストをデータ分析し、数値に基づく傾向と対策を明らかにし指導につなげる。
		実績値	543		613		—				
	訪問件数（件）	計画値	700	95%	730	105%	765				
		実績値	666		763		—				
高齢者等配食サービス	利用者人数（人）	計画値	145	115%	150	112%	155	買物や調理が困難な高齢者に栄養バランスのとれた食事を提供し、配食時に利用者の安否確認を行う。	2月末利用者数135人、35,800食、1食あたり290円助成 プロポーザルによる業者選定（3年毎）を行った。	3月末利用者数168人、39,213食、1食あたり290円助成 配食時に手渡しにより安否確認実施。	引き続き、配食代の助成と安否確認を行い、高齢者の安心した在宅生活を支援する。
		実績値	167		168		—				
高齢者等紙おむつ支給事業	支給実人数（人）	計画値	230	106%	230	104%	230	65歳以上で3か月以上寝たきりや認知症の方を対象に、2カ月に1度紙おむつを支給し、在宅での介護者の負担軽減を図る。	2月末支給実人数245人、支給延件数1,009件 プロポーザルによる業者選定（3年毎）を行った。	3月末支給実人数189人、支給延件数811件 国の制度改正に伴い支給対象要件に所得制限を設定	介護用品の支給は交付金事業の対象外とする国の方針が示されていることを踏まえて、福祉サービスを総合的に判断する。
		実績値	244		240		—				
	支給延件数（件）	計画値	1,000	109%	1,000	90%	1,000				
		実績値	1,086		900		—				
在宅介護支援金支給事業	支給実人数（人）	計画値	255	91%	260	93%	265	在宅で介護が必要な者及びその介護をしている者に対し在宅介護支援金を支給する。	7月及び1月にそれぞれ前月分までを支給令和3年度は実人数231人 支給延人数350人	7月及び1月にそれぞれ前月分までを支給実人数241人 支給延人数383人	引き続き、制度の周知を図りながら、対象者に支援金を支給する。
		実績値	231		241		—				
高齢者訪問理美容サービス	利用者人数（人）	計画値	5	120%	5	240%	5	寝たきりで理美容店に出向くことが困難な高齢者に、出張費用を助成する。	2月末登録者数11人、実利用者数4人、利用延回数7件	3月末登録者数18人、実利用者数12人、利用延回数26件 在宅介護支援金対象者への通知時にチラシを同封し、事業の周知を図った。	助成が必要な方にサービスを利用していただけるよう、事業の周知を行う。
		実績値	6		12		—				
はり・灸・マッサージ 施術費助成	実利用人数（人）	計画値	300	117%	300	119%	300	70歳以上の希望者に施術費の助成券を交付する。	2月末実利用人数320人、延利用人数1,200人	3月末助成券交付455人、実利用人数358人、延利用人数 1,385人	腰痛や肩こり等を改善し、健康で健やかに過ごせるよう助成する。
		実績値	351		358		—				
	延利用人数（人）	計画値	1,300	105%	1,300	107%	1,300				
		実績値	1,363		1,385		—				
通院・外出支援（付き添い）サービス	ファミリー・サポートセンター利用者人数（人）	計画値	1,700	65%	1,700	74%	1,700	通院や買い物等への移動支援が必要な方を対象に、ふくろいファミリーサポートセンター等が支援を行う。	1月末利用者数920人 新型コロナの影響により、外出自粛など行動が控えられたため利用者が減少した。	延べ利用者数 1,259人 新型コロナの流行が収束し始めたことにより、利用者の増加がみられた。	引き続き、支援が必要な方に利用していただけるよう制度を周知していく。
		実績値	1,109		1,259		—				

2-1-5 安心・安全の確保（計画P75）

施策別取組指標		年次	R 3 年度	R 3 実績/計画	R 4 年度	R 4 実績/計画	R 5 年度	内容	事業量(R 3 年度)	事業量(R 4 年度)	今後の取組方針
高齢者緊急通報システム機器貸与	設置数（台）	計画値	220	83%	230	74%	230	ひとり暮らし高齢者等に日常生活の安全と緊急事態への対応を図るため、緊急通報用機器を貸与する。希望者には人感センサーも設置している。	2月末設置数191台（コールセンター方式162台、モバイル式1台、駆け付け方式28台）固定電話を持たない方用に12月からモバイル型を導入した。	3月末設置数170台（コールセンター方式139台モバイル式1台、駆付方式24台モバイル6台）入札にて2社と契約し、9月までに機器入替を行った。	携帯電話の普及により貸与数は減少傾向にあるが、ひとり暮らし高齢者訪問時等に事業の周知をし、安全・安心な在宅生活を支援する。
		実績値	182		170		—				

2-2 認知症施策の推進

2-2-1 認知症に対する正しい理解の促進（計画P77・78）

施策別取組指標		年次	R 3 年度	R 3 実績/計画	R 4 年度	R 4 実績/計画	R 5 年度	内容	事業量(R 3 年度)	事業量(R 4 年度)	今後の取組方針
認知症サポーター養成講座	実施回数（回）	計画値	50	38%	50	26%	50	市民や事業所、学校などを対象に、認知症について正しく理解し、認知症の方やその家族を見守り、支援するサポーターを養成するための講座を開催する。	新型コロナの影響により、開催回数が減少した。小学校での養成講座ではオンラインでの開催を行った。	新型コロナの影響により、開催回数及び実施人数が横ばいとなった。	学校や企業等、多様な対象者に対して開催を推進し、認知症の正しい理解と、見守り支援するサポートを増やしていく。
		実績値	19		13		—				
	実施人数（人）	計画値	1,000	37%	1,000	51%	1,000				
		実績値	366		505		—				
認知症キャラバン・メイトの育成	認知症キャラバン・メイト登録者数（人）	計画値	102	103%	104	104%	106	認知症サポーター養成講座で講師となる認知症キャラバン・メイトの育成を行うとともに、メイトへのフォローアップ研修会を実施する。	認知症の方への見守りや声掛けなどの生活面の支援を行う「チームオレンジ」の立ち上げを目的に、チームオレンジ養成講座を実施、参加者46人	新たに3名キャラバンメイト講座を受講し、登録者が3名増加した。また、チームオレンジ養成研修を開催し29名が参加した。	引き続き、フォローアップ研修会等を実施し、効果的な認知症サポーター養成講座の開催につなげる。
		実績値	105		108		—				

2-2-2 認知症予防の推進（計画P79・80）

施策別取組指標		年次	R 3 年度	R 3 実績/計画	R 4 年度	R 4 実績/計画	R 5 年度	内容	事業量(R 3 年度)	事業量(R 4 年度)	今後の取組方針
認知症予防のための取組	セミナー実施回数（回）	計画値	14	93%	14	100%	14	ふくろい健康保健室において、漢字色別テストの実施や認知症予防についての講義・体験を実施する。	12月末現在、10か所実施、延参加人数98人。コミセン9か所81人、総合健康センター17人。	ふくろい健康保健室において、各コミュニティセンター1回ずつ14回実施。延参加人数245人。	地域包括支援センターや関係部署と連携し、認知症予防の啓発に取り組む。
		実績値	13		14		—				
	参加延人数（人）	計画値	140	96%	210	117%	280				
		実績値	134		245		—				
通いの場づくり ※再掲	通いの場（介護予防体操）（箇所）	計画値	75	89%	80	90%	85	シニア支援センターに普及促進事業を委託し、地域包括支援センターと連携して未実施自治会等へ説明会を実施する。	12月末現在、新規開始4か所説明会10か所の実施、延参加者数80人	新規開設5か所説明会29か所の実施、延参加者数161人体力測定や錘の貸出など活動の継続を支援した。	袋井シニア支援センターや関係部署と連携し、身近な場で活動ができるよう、立ち上げや継続を支援していく。
		実績値	67		72		—				
	居場所（箇所）	計画値	24	96%	24	113%	25	地域の人たちが気軽に立ち寄り、ふれあいや交流できる住民主体の居場所の継続支援や新たな立ち上げを促す。	担い手の育成を図るため、居場所づくり体験セミナーを開催した。（1月18日）	担い手の育成を図るため、「地域支え合いふれあい活動マップ」を作成し、活動の紹介と周知に努めた。また、昨年度実施した居場所づくりセミナー参加者により新たな居場所が立ち上がった。	情報発信や交流会等の開催により、ふれあいや交流できる住民主体の居場所の継続支援や新たな立ち上げを支援する。
		実績値	23		27		—				
	ふれあい・いきいきサロン設置自治会数（箇所）	計画値	105	95%	107	87%	110	高齢者や障害者、子育て家庭等が地域の人と触れ合いながら、心豊かに暮らすことができるように活動を推進している。	自治会や民生員児童委員と連携しながら必要性の高い地区を推進した。	自治会や民生員児童委員と連携しながら必要性の高い地区を推進した。	引き続き、ボランティア育成や交流会を開催するなど、活動の促進を図る。
		実績値	100		93		—				

2-2-3 切れ目のない相談・支援体制の充実（計画P82）

施策別取組指標		年次	R 3 年度	R 3 実績/計画	R 4 年度	R 4 実績/計画	R 5 年度	内容	事業量(R 3 年度)	事業量(R 4 年度)	今後の取組方針
認知症初期集中支援チーム	チーム員会議実施回数（回）	計画値	12	75%	12	75%	12	医師・リハビリ専門職等がチームを組み、認知症の方や認知症が疑われる方とその家族に対して集中的な支援を行う。	月1回程度チーム員による会議を開催した。1人の対象者に対して、3回～4回チーム員による検討を行った。	月1回の会議開催を目標としているが、新型コロナの影響により開催回数を制限した。1人の対象者に対して、3回～4回チーム員による検討を行った。	介護や医療関係者に対して事業の周知を積極的に行い、チームに繋がられるように、対象者把握に努める。
		実績値	9		9		—				
	支援人数（人）	計画値	12	67%	12	58%	12				
		実績値	8		7		—				

2-2-4 地域で支え合い、ともに暮らす社会の実現（計画P85）

施策別取組指標		年次	R 3 年度	R 3 実績/計画	R 4 年度	R 4 実績/計画	R 5 年度	内容	事業量(R 3 年度)	事業量(R 4 年度)	今後の取組方針
はいかいS O Sネットワーク事業	新規登録者数（人）	計画値	20	205%	20	145%	20	地域包括支援センターや介護保険事業所を通じて、はいかいの心配のある方に対してネットワークへの登録を勧めている。	2月末登録者数96人、新規登録者38人QRコードシールを導入し、登録者へ配布した。	3月末登録者数90人、新規登録者29人個人賠償責任保険やQRコードシールの活用を促した。	事業の積極的な周知に努め、個人賠償責任保険やQRコードシールを活用し、地域で認知症高齢者を支えていく。
		実績値	41		29		—				
	協力事業所の登録数（箇所）	計画値	145	99%	150	96%	155	介護サービス事業者等に協力事業所として登録していただき、行方不明となった場合の早期発見ネットワークを構築する。	登録事業所新規1件	登録事業所新規1件	地域の事業所等にもちを事業の積極的な周知に努め、地域で認知症高齢者を支えていく。
		実績値	143		144		—				

2-3 在宅医療・介護連携の推進

2-3-1 在宅医療・介護連携の推進（計画P88・89）

施策別取組指標		年次	R 3 年度	R 3 実績/計画	R 4 年度	R 4 実績/計画	R 5 年度	内容	事業量(R 3 年度)	事業量(R 4 年度)	今後の取組方針
多職種・多機関の連携 推進	「シズケア＊かけはし」登録事業所数（箇所）	計画値	19	126%	22	114%	25	医師会と連携を図りながら、座談会等においてシズケア＊かけはしの普及啓発を行った。	1月14日シズケア＊かけはしの操作研修会を開催、参加者4名	シズケア＊かけはしの導入説明会を1回開催して、新規登録数を増やした。	引き続き、医師会と連携を図りインストラクターを派遣し、シズケア＊かけはしの普及啓発を行う。
		実績値	24		25		—				
	コーディネーター相談支援件数（件）	計画値	175	120%	185	398%	195	総合相談窓口や磐周医師会において、市民や医療介護関係者からの在宅医療介護連携に関する相談を受け、適切なサービス等に繋げる。	12月末時点、在宅医療介護連携に関する相談件数159件	総合相談窓口には磐周医師会の在宅医療介護連携コーディネーターを月2回配置をして、相談体制を強化した。磐周医師会在宅医療介護連携コーディネーター相談対応件数15件。	引き続き、磐周医師会の在宅医療介護連携コーディネーターを定期的に配置をし、相談体制を強化していく。
		実績値	210		736		—				
	医療・介護関係者研修参加延人数（人）	計画値	180	52%	190	37%	200	専門職が市民にACP（アドバンス・ケア・プランニング）導入の支援が円滑にできるよう研修会を開催した。	ACPに関する研修会をWEBにて2回開催、延べ参加者94人	ACPに関する研修会をWEBにて2回開催、延べ参加者70人 コロナ禍のため、医療と介護に関わる専門職が参加しやすいようWEB開催としたが、参加人数は減少した。	ACPに関する研修会をグループワークなどの実践的な内容も盛り込み開催するとともに、関係機関等の研修会等でもACPの普及啓発を図っていく。
		実績値	94		70		—				
	市民公開講座等参加延人数（人）	計画値	120	0%	140	66%	160	在宅療養が必要になった際に終末期ケアの在り方等を理解することは、適切な在宅療養を継続するためには欠かせないため、市民への普及啓発を行う。	新型コロナの影響により、開催は見合わせた。代替で、もしもの時に備え、どのような医療やケアを受けたいなどを記載できるセルフケアノートを作成し配布した。	袋井市版人生会議手帳「こころのノート」を活用したACP出張講座を包括圏域単位で4回開催した。 コロナ禍により参加者を限定して開催した。	袋井市版人生会議ノート「こころのノート」を活用して、医療介護関係者の協力を得ながら、ACPが市民に受け入れやすくなるよう、工夫をして出張講座を開催する。
		実績値	0		92		—				

2-3-2 切れ目のない在宅医療と介護の連携の体制の整備推進

施策別取組指標なし

基本目標 3 安心な生活を支援するための介護保険制度の推進

3-1 介護保険事業の円滑な実施

3-1-1 介護サービス事業の推進

計画値と比較して

90%以上	70%以上	70%未満
-------	-------	-------

施策別取組指標		年次	R 3 年度	R 3 実績/計画	R 4 年度	R 4 実績/計画	R 5 年度	施策別取組指標	年次	R 2 年度	R 3 年度	R 3 実績/計画	R 4 年度	R 4 実績/計画	R 5 年度
居宅サービス (計画P94～97)	訪問介護 (回)	計画値	73,571	81%	76,164	85%	77,981	訪問介護 (人)	計画値		3,000	97%	3,060	99%	3,120
		実績値	59,921		64,364		—		実績値	2,821	2,913		3,037		—
	訪問入浴介護 (回)	計画値	1,624	64%	1,638	84%	1,638	訪問入浴介護 (人)	計画値		300	69%	300	93%	300
		実績値	1,043		1,380		—		実績値	252	208		280		—
	介護予防訪問入浴介護 (回)	計画値	0	—	0	皆増	0	介護予防訪問入浴介護 (人)	計画値		0	—	0	皆増	0
		実績値	0		11		—		実績値	0	0		5		—
	訪問看護 (回)	計画値	20,664	93%	21,956	82%	23,633	訪問看護 (人)	計画値		2,400	98%	2,580	91%	2,760
		実績値	19,143		17,968		—		実績値	2,149	2,347		2,355		—
	介護予防訪問看護 (回)	計画値	7,512	85%	8,021	69%	8,671	介護予防訪問看護 (人)	計画値		852	108%	900	91%	960
		実績値	6,385		5,524		—		実績値	782	921		822		—
	訪問リハビリテーション (回)	計画値	7,507	121%	7,702	125%	7,985	訪問リハビリテーション (人)	計画値		588	115%	600	122%	624
		実績値	9,090		9,642		—		実績値	523	679		730		—
	介護予防訪問リハビリテーション (回)	計画値	3,474	103%	3,818	89%	4,200	介護予防訪問リハビリテーション (人)	計画値		360	96%	384	94%	420
		実績値	3,590		3,393		—		実績値	275	344		360		—
	居宅療養管理指導 (人)	計画値	2,208	123%	2,316	131%	2,568	介護予防居宅療養管理指導 (人)	計画値		192	119%	216	137%	216
		実績値	2,709		3,034		—		実績値	209	229		295		—
	通所介護 (回)	計画値	149,154	91%	156,376	89%	161,623	通所介護 (人)	計画値		10,884	94%	11,268	95%	11,640
		実績値	135,440		139,398		—		実績値	10,168	10,217		10,696		—
	通所リハビリテーション (回)	計画値	15,780	81%	17,568	51%	17,976	通所リハビリテーション (人)	計画値		1,716	78%	1,824	56%	1,860
		実績値	12,785		8,891		—		実績値	1,505	1,331		1,023		—
	介護予防通所リハビリテーション (人)	計画値	1,128	87%	1,200	93%	1,212								
		実績値	985		1,110		—								
	短期入所生活介護 (日)	計画値	14,880	102%	15,644	101%	16,526	短期入所生活介護 (人)	計画値		1,968	100%	2,076	101%	2,172
		実績値	15,242		15,842		—		実績値	1,918	1,961		2,088		—
	介護予防短期入所生活介護 (日)	計画値	586	96%	604	33%	628	介護予防短期入所生活介護 (人)	計画値		120	68%	120	49%	132
		実績値	565		199		—		実績値	88	81		59		—
	短期入所療養介護 (日)	計画値	628	157%	628	100%	641	短期入所療養介護 (人)	計画値		96	75%	96	68%	96
		実績値	986		629		—		実績値	73	72		65		—
	介護予防短期入所療養介護 (日)	計画値	0	—	0	—	0	介護予防短期入所療養介護 (人)	計画値		0	—	0	—	0
		実績値	0		0		—		実績値	1	0		0		—
	福祉用具貸与 (人)	計画値	9,912	109%	10,140	108%	10,380	介護予防福祉用具貸与 (人)	計画値		4,548	99%	4,656	103%	4,776
		実績値	10,818		10,908		—		実績値	4,192	4,518		4,804		—
	特定福祉用具購入費 (人)	計画値	216	108%	228	86%	240	特定介護予防福祉用具購入費 (人)	計画値		120	65%	132	67%	132
		実績値	233		196		—		実績値	70	78		88		—
	住宅改修 (人)	計画値	120	102%	132	87%	144	介護予防住宅改修 (人)	計画値		72	153%	72	119%	84
		実績値	122		115		—		実績値	85	110		86		—
	居宅介護支援 (人)	計画値	15,036	104%	15,504	102%	16,044	介護予防支援 (人)	計画値		5,508	99%	5,760	100%	5,868
		実績値	15,614		15,849		—		実績値	5,044	5,458		5,737		—
地域密着型サービス (計画P99)	地域密着型通所介護 (回)	計画値	7,525	114%	7,805	84%	8,285	地域密着型通所介護 (人)	計画値		960	107%	1,020	81%	1,080
		実績値	8,591		6,572		—		実績値	980	1,027		825		—
	小規模多機能型居宅介護 (人)	計画値	720	98%	744	85%	768	介護予防小規模多機能型居宅介護 (人)	計画値		120	116%	120	96%	120
		実績値	703		632		—		実績値	146	139		115		—
	看護小規模多機能型居宅介護 (人)	計画値	252	88%	276	70%	300								
		実績値	221		192		—								
	認知症対応型通所介護 (回)	計画値	312	8%	312	321%	312	認知症対応型通所介護 (人)	計画値		48	8%	48	106%	48
		実績値	25		1,002		—		実績値	0	4		51		—
	介護予防認知症対応型通所介護 (回)	計画値	120	0%	120	94%	120	介護予防認知症対応型通所介護 (人)	計画値		24	0%	24	121%	24
		実績値	0		113		—		実績値	0	0		29		—

施策別取組指標		年次	R 3 年度	R 3 実績/計画	R 4 年度	R 4 実績/計画	R 5 年度	施策別取組指標		年次	R 2 年度	R 3 年度	R 3 実績/計画	R 4 年度	R 4 実績/計画	R 5 年度
施設・居住系サービス (計画P101～102)	介護老人福祉施設（人）	計画値	4,512	96%	4,680	91%	4,860	介護老人保健施設（人）		計画値		2,220	105%	2,340	108%	2,400
		実績値	4,332		4,268		—			実績値	2,207	2,334		2,534		—
	介護療養型医療施設（人）	計画値	60	23%	60	2%	72	介護医療院（人）		計画値		792	102%	792	106%	804
		実績値	14		1		—			実績値	735	806		839		—
	認知症対応型共同生活介護（人）	計画値	1,800	94%	1,812	93%	1,812	介護予防認知症対応型共同生活介護（人）		計画値		12	217%	12	342%	12
		実績値	1,684		1,678		—			実績値	24	26		41		—
	特定施設入居者生活介護（人）	計画値	660	96%	696	107%	732	介護予防特定施設入居者生活介護（人）		計画値		72	86%	72	74%	72
		実績値	634		747		—			実績値	77	62		53		—
介護予防・生活支援サービス（総合事業） (計画P104)	訪問介護担当サービス【現行相当】（人）	計画値	165	96%	165	100%	165	訪問型サービスA【基準緩和】（人）		計画値		5	20%	10	0%	15
		実績値	159		165		—			実績値	1	1		0		—
	訪問型サービスB【住民主体】（箇所）	計画値	1	100%	2	50%	3	訪問型サービスC【短期集中】（人）		計画値	6	7	86%	8	75%	9
		実績値	1		1		—			実績値	7	6		6		—
	通所介護相当サービス【現行相当】（人）	計画値	535	93%	535	101%	535	通所型サービスA【基準緩和】（人）		計画値		45	56%	60	48%	75
		実績値	499		543		—			実績値	30	25		29		—
	通所型サービスB【住民主体】（箇所）	計画値	1	0%	1	0%	1	通所型サービスC【短期集中】（人）		計画値		5	100%	6	133%	7
		実績値	0		0		—			実績値	5	5		8		—
	介護予防ケアマネジメント利用者数（件）	計画値	3,200	98%	3,200	86%	3,200									
		実績値	3,142		2,757		—									

3-1-2 介護サービスの質の確保

施策別取組指標		年次	R 3 年度	R 3 実績/計画	R 4 年度	R 4 実績/計画	R 5 年度	施策別取組指標		年次	R 2 年度	R 3 年度	R 3 実績/計画	R 4 年度	R 4 実績/計画	R 5 年度
介護給付適正化事業 (計画P107～109)	認定調査点検実施率（％）	計画値	100	100%	100	100%	100	業務分析データの分析実施（回）		計画値		2	100%	2	100%	2
		実績値	100		100		—			実績値	2	2		2		—
	県や市主催の研修会等への参加（回）	計画値	3	100%	3	100%	3	ケアプラン点検（件）		計画値		20	90%	20	100%	20
		実績値	3		3		—			実績値	27	18		20		—
	住宅改修の書類審査点検実施率（％）	計画値	100	100%	100	100%	100	住宅改修の施行前施行後訪問調査（件）		計画値		5	100%	5	100%	5
		実績値	100		100		—			実績値	1	5		5		—
	特定福祉用具購入の書類審査点検実施率（％）	計画値	100	100%	100	100%	100	特定福祉用具購入の訪問調査（件）		計画値		5	100%	5	100%	5
		実績値	100		100		—			実績値	2	5		5		—
	縦覧点検及び医療情報との突合の静岡県国民健康保険団体連合会への委託の実施	計画値	実施	100%	実施	100%	実施	市による自主的な縦覧点検（帳票）		計画値		3	100%	3	100%	3
		実績値	実施		実施		—			実績値	2	3		3		—
	介護給付費通知の実施（回）	計画値	1	100%	1	100%	1	「介護給付適正化システム」から出力される帳票の点検（帳票）		計画値		3	100%	3	100%	3
		実績値	1		1		—			実績値	3	3		3		—
	要介護認定の申請から結果通知までの平均処理期間の短縮（日）	計画値	33.0	101%	32.5	100%	32.0									
		実績値	33.3		32.5		—									
サービスの質の向上に向けた取組（計画P111）	自立支援、介護予防、重症化防止に関する集団研修会（回）	計画値	4	75%	4	75%	4									
		実績値	3		3		—									

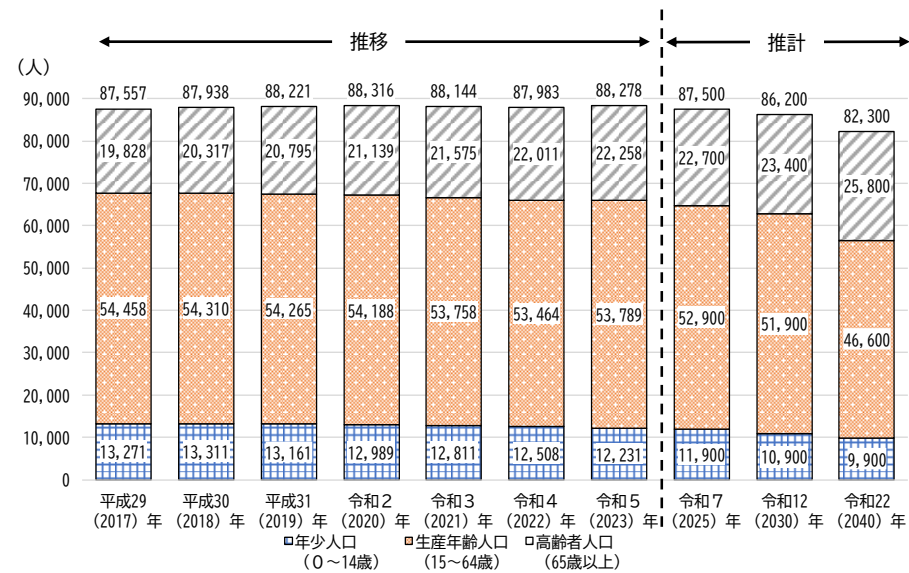
3-1-3 介護人材の確保

施策別取組指標なし

袋井市の高齢者の現状について

●総人口の推移と推計

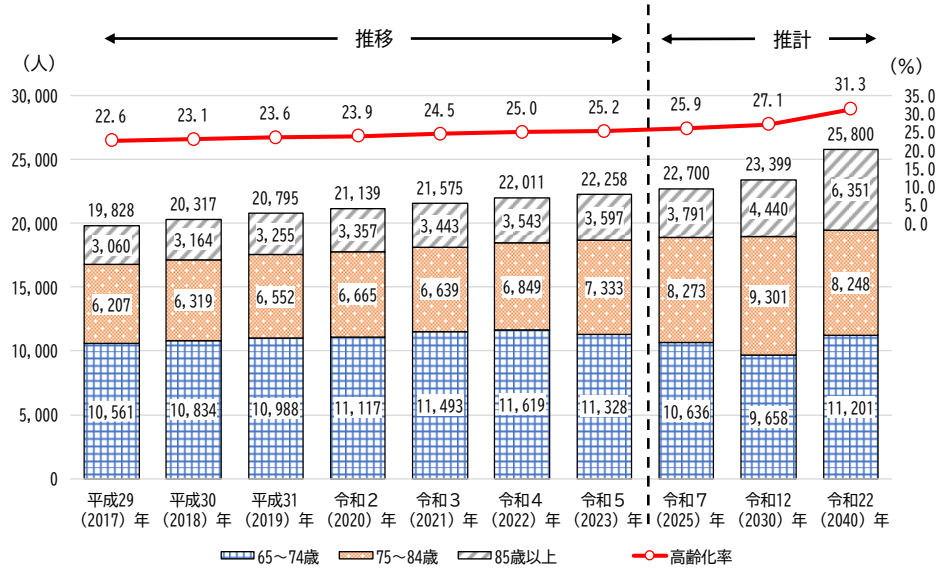
- ・総人口はおおむね横ばいで推移。令和7年度以降は減少していく見込み。
- ・年少人口は減少、高齢者人口は増加を続け、少子高齢化が進んでいる。



資料：袋井市人口・世帯数の推移（平成29年～令和5年、各年4月1日現在）
袋井市総合計画を参照（令和7年以降、各年4月1日現在）

●高齢者数の推移と推計

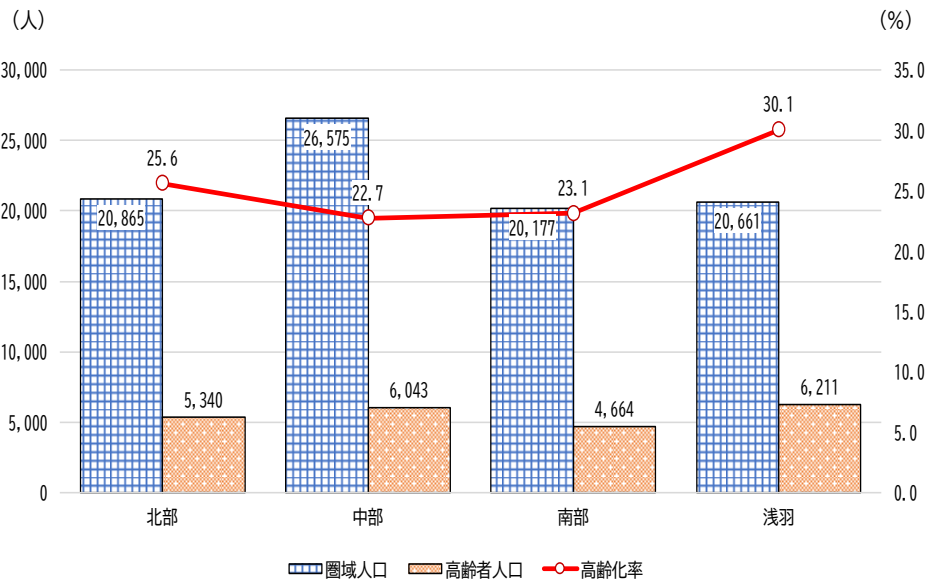
- ・令和4年度以降、高齢化率が25.0%を超え、約4人に1人が高齢者となる。
- ・75～84歳、85歳以上人口はともに増加を続けている。



資料：袋井市人口・世帯数の推移（平成29年～令和5年、各年4月1日現在）
袋井市総合計画を参照（令和7年以降、各年4月1日現在）

●圏域別人口・高齢者数

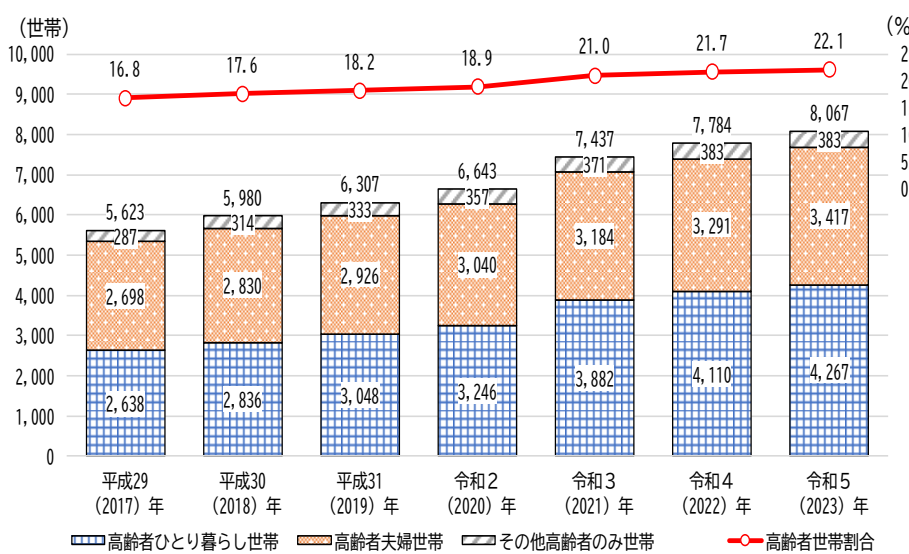
- ・高齢化率が最も高い圏域は浅羽圏域（30.1%）。
- ・圏域人口がほぼ同等の北部圏域に比べ、高齢化率に5ポイント程度の差がある。



資料：長寿介護課資料（令和5年4月1日現在）

●高齢者のみの世帯の推移

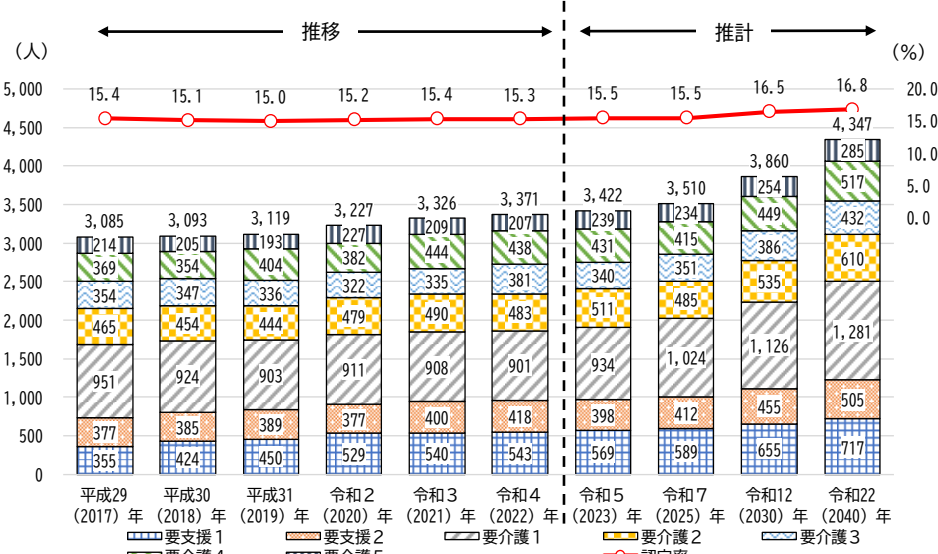
- ・令和5年では高齢者のみの世帯が2割を超えている。
- ・令和5年では高齢者のみの世帯の半数以上がひとり暮らしとなっている。



資料：高齢者福祉行政の基礎調査

●要介護認定者数の推移と推計

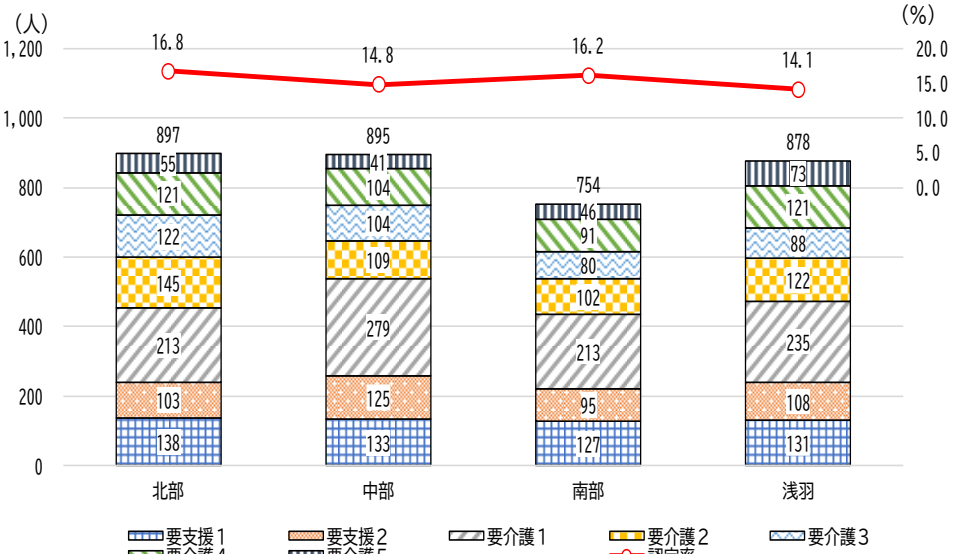
- ・認定者数は増加傾向で、今後も増える見込み。認定率は横ばいで推移。
- ・要介護度別では、要介護1が最も多い。



資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告 月報」（各年9月分）

●圏域別要介護認定者数

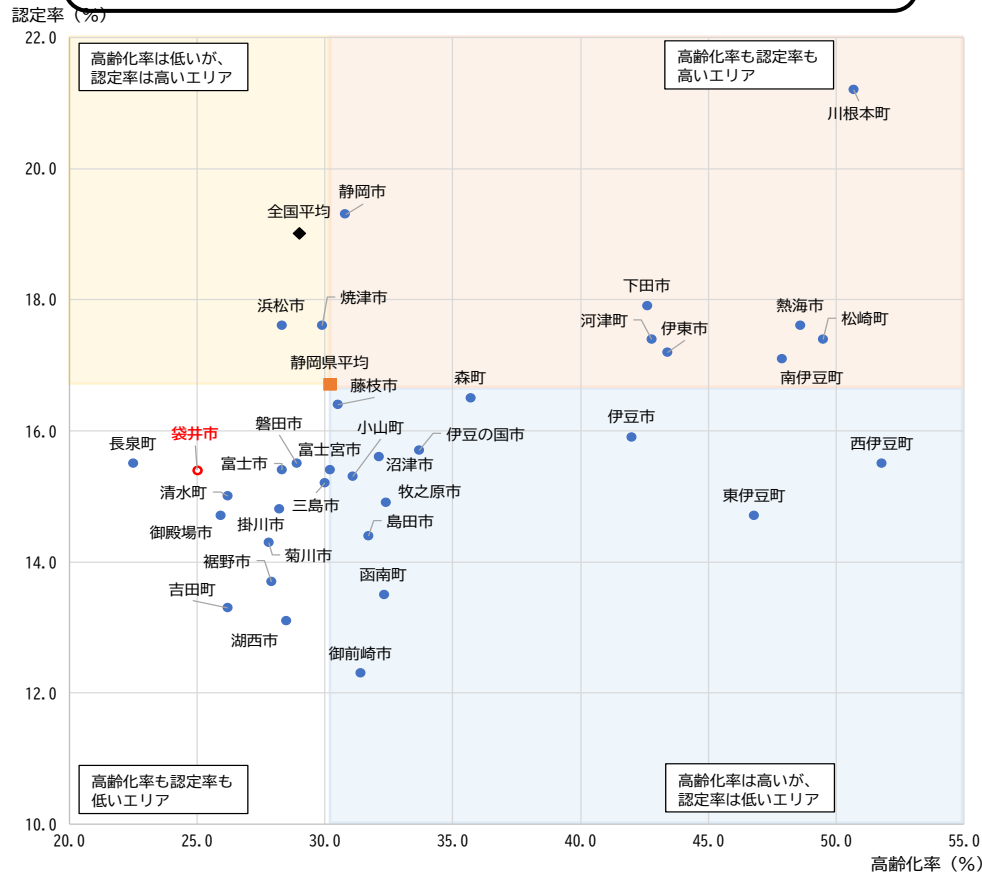
- ・認定者数、認定率がともに最も高い圏域は北部圏域（897人、16.8%）。
- ・認定者数が同等の中部圏域に比べ、認定率に2ポイントの差がある。



資料：保険課資料（令和5年4月1日現在）

●県内高齢化率・認定率の比較

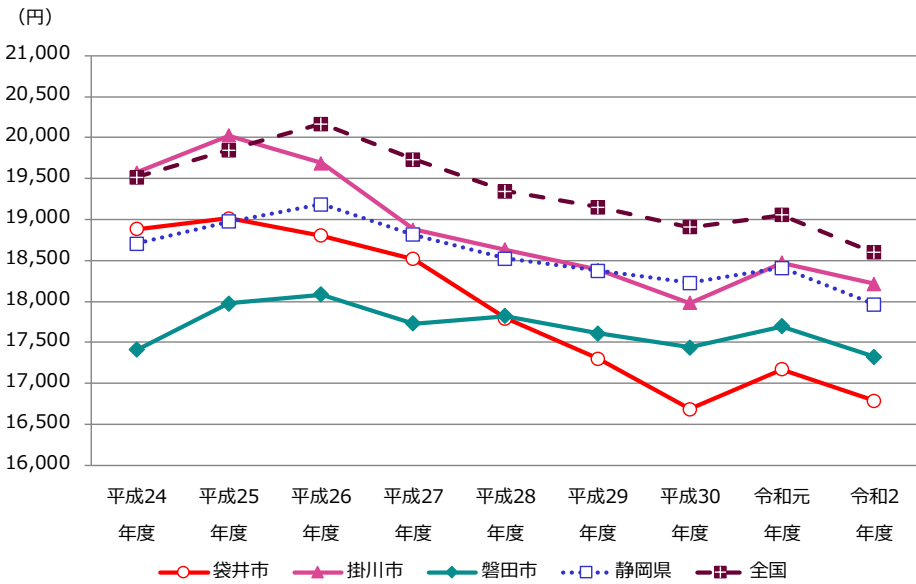
- ・本市の高齢化率、認定率ともに静岡県平均を下回っている。
- ・介護度の区分別では、要支援者の割合が増加している。



資料：高齢化率：静岡県 令和4年度静岡県高齢者福祉行政の基礎知識（令和4年4月1日現在）
認定率：地域包括ケア「見える化」システム 令和4年度（令和4年5月24日取得）

●第1号被保険者1人当たり給付月額の推移

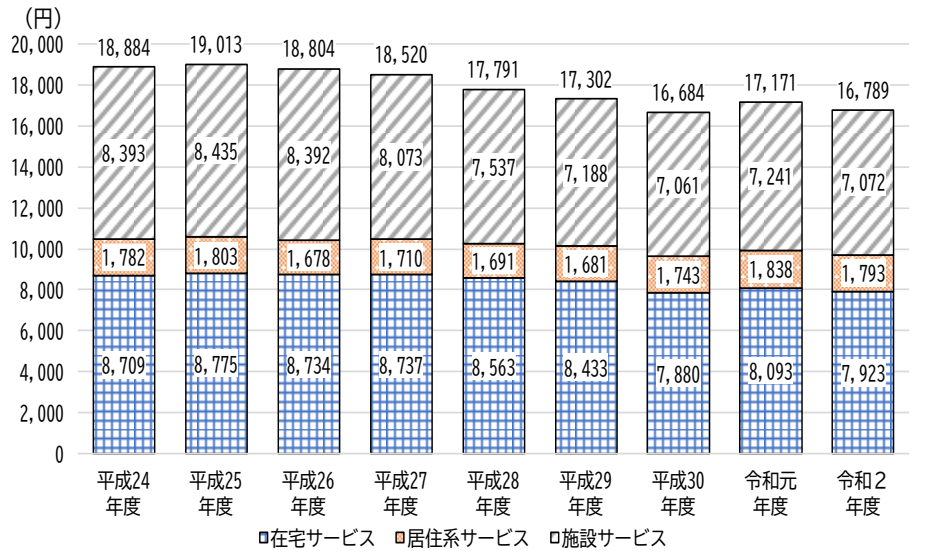
- ・平成28年度以降、本市の給付額は全国、静岡県及び近隣の磐田市、掛川市と比較して低くなっている。



資料：地域包括ケア「見える化」システム（令和4年5月24日取得）

●第1号被保険者1人当たりサービス系列別給付月額の推移

- ・令和2年度では在宅サービスが7,923円、居住系サービス1,793円、施設サービスが7,072円となっており在宅サービスと施設サービスが大半を占めている。



資料：地域包括ケア「見える化」システム（令和4年5月24日取得）

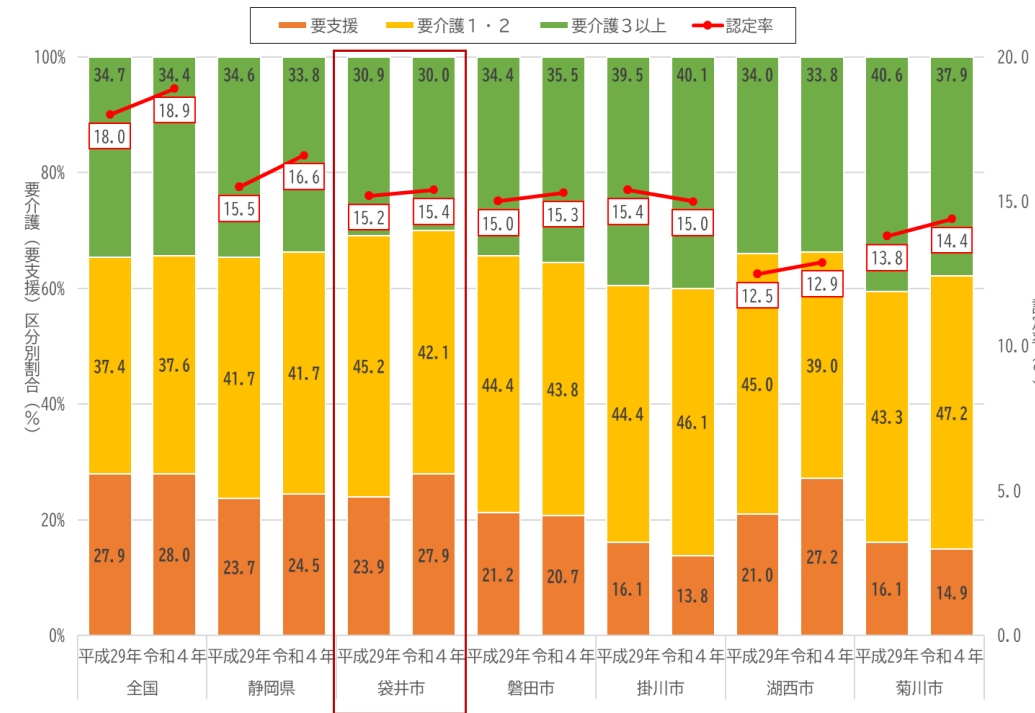
●圏域別後期高齢者医療費割合（上位8疾患）

- ・北部圏域、中部圏域、浅羽圏域では「慢性腎臓病（透析あり）」、南部圏域では「骨折」の割合が最も高い。

●分類別後期高齢者医療費割合（入院、外来）

- ・入院医療費、外来医療費ともに「循環器」の割合が最も高い。

●要介護度（要支援）区分別割合と認定率

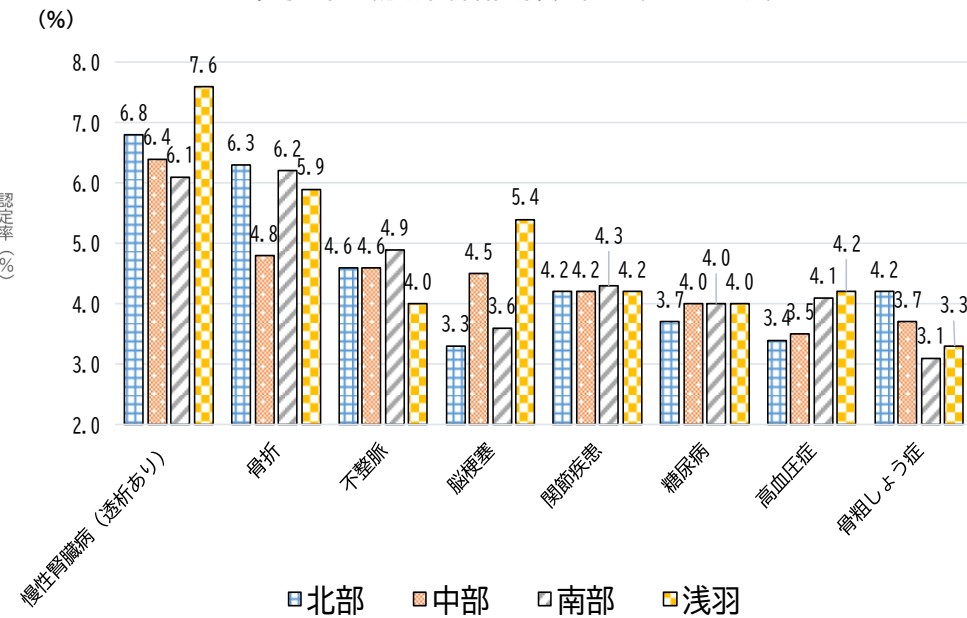


資料：地域包括ケア「見える化」システム（各年3月末現在）

R3 後期高齢者医療費圏域別上位8疾患

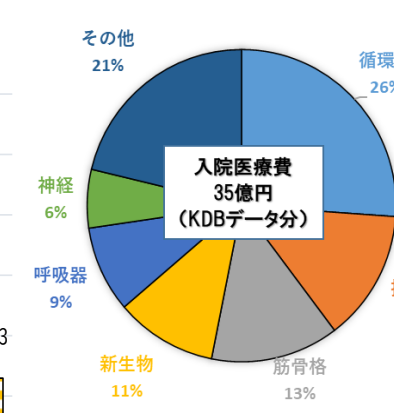
<入院+外来（％）>

医療費全体を100％として計算【KDBシステム】
参考：市全域後期高齢者医療費60億円（KDBデータ分）



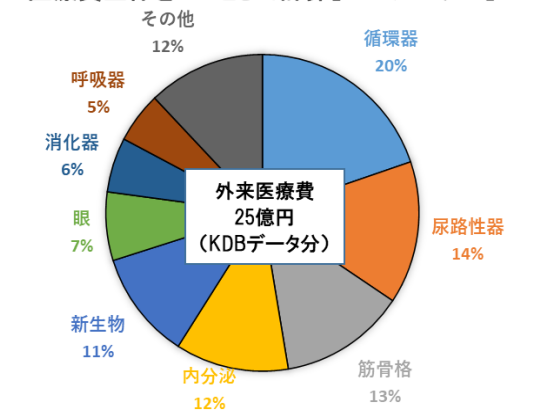
3後期高齢者入院医療費<分類別(%)>

医療費全体を100として計算【KDBシステム】



R3後期高齢者外来医療費<分類別(%)>

医療費全体を100として計算【KDBシステム】



資料：健康長寿課資料（令和3年度データ）